

## 事業者向けにおける自己評価結果(公表)

公 表 令和4年3月1日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス のこのこプラス美原

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	70.0%	10.0%	20.0%	・学習する環境は整えられていると思う。個別課題を取り組む際やクールダウンするためのスペースを確保したい。
	2	職員の配置数は適切であるか	80.0%	20.0%		・送迎等で一時的だが職員が一人でみなければならない時間帯がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	30.0%	50.0%	20.0%	・事業所内は配慮されている。玄関は改善が必要だと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.0%			・広く色々な職員の意見を取り入れ進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	90.0%	10.0%		・業務改善につなげている。保護者の意見をとても大切にし、支援につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80.0%	20.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60.0%	30.0%	10.0%	・評価結果を改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0%			・研修は月に2回ほどありほとんどの職員が参加していて、とても自分自身勉強になっている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%			・作成されている。それに基づいて支援を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	90.0%	10.0%		・使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90.0%	10.0%		・活動プログラムのリーダーと協力し取り組みチームで振り返りをして、今後につなげて行けるようにしたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100.0%			・会議等で定期的に児童の様子を共有し、そのときどきで変更や工夫されている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100.0%			・課題は時間がある限りきちんと設定し、支援計画に基づいて行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%			・作成されている。(その時の子どもの状況をふまえて)

裏面に続く

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80.0%	20.0%		・午後のミーティング等で行っていただければ勤務職員全員で、情報共有、打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	70.0%	30.0%		・パート勤務の職員もおり支援終了後全体での打ち合わせは難しく報告のみ共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	90.0%	10.0%		・支援の記録を充実させ、支援の改善につなげていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%			・月に一度の会議で必ず行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	90.0%	10.0%		・複数で支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100.0%			・参画されている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100.0%			・職員が中心となり行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	30.0%	50.0%	20.0%	・医療的ケアの必要な利用児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40.0%	60.0%		・何かあった場合や、共有したい事項等があると連絡している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80.0%	20.0%		・全て提供されていると思う。細かな情報等も伝えていると思う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	90.0%	10.0%		・研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20.0%	40.0%	40.0%	・コロナの状況を見て交流の機会を作りたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40.0%	50.0%	10.0%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	90.0%	10.0%		・事業所での出来事様子等送迎の際に細かくお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	70.0%	20.0%	10.0%	・行っている。

次のページに続く

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	90.0%	10.0%		・細かく説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0%			・行っている。他職員へも共有し、全体として支援や助言を考え行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		50.0%	50.0%	・保護者同士の連携については、あまりないのかなと思う。コロナが落ち着き事業所等の行事等で関わる機会増えると良い。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90.0%	10.0%		・社員の皆さんが中心に行って下さっている。保護者の方から苦情意見あったときなど全体で共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%			・プリントで事業所の取り組み行事の事、又は行事変更など定期的にお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100.0%			・きちんと保管され注意されている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	30.0%	50.0%	20.0%	・連絡帳などでその日の様子や家庭との情報の交換を行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	90.0%	10.0%		・コロナによりできていないが今後できていくと良い。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80.0%	20.0%		・周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%			・行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%			・年に一度の虐待防止研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0%			・毎月行っている。暴れて他児に手を出さずなどやむを得ず手をおさえた場合には記載や保護者等に伝えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80.0%	10.0%	10.0%	・おやつ提供の際に、職員2人でダブルチェックを行い気をつけている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0%			・共有し、必ず全員が確認している。	

○ この「事業者向けにおける自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。